

自己改革

J A紀南の挑戦

連載 ⑨

農業所得向上対策支援事業



今回の事業では各地域それぞれの課題に対して生販組織等が取り組む対策等も支援（写真はイメージ＝田辺市内で開いたサルノコシカケの被害対策へ遠隔操作式の囲いわなの現地講習）

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

営農室の営農指導員まで。

J A紀南は自己改革の実践を通じ農業所得の増大や地域の活性化にチャレンジしています

地域活性化の取組みも支援

優良品目転換や安定生産を

J A紀南は、組合員の営農支援のための「農業所得向上対策支援事業」を創設し、平成30年度と31年度の2カ年（一部は32年度まで）にわたって取り組んでいる。事業は優良品目への転換、農地の規模拡大、高品質安定生産、地域活性化など6つのメニュー。優良品目への転換、規模拡大のための農業用機械等への助成は、参加希望が目標を上回る数字となった。地域活性化支援を含む他のメニューも、順次受け付ける予定で、組合員に広く事業の活用を呼びかけている。

J A紀南は自己改革による農業者の所得増大や安定生産に取り組んでおり、今回の「農業所得向上対策支援事業」は、組合員の事業への参画と利用の結果として生まれた剰余金を平成29年度に目的積立金として積み立てた1億円を活用している。

事業のメニューは①優良品目への転換に対する助成②農地の規模拡大等に対する助成③業務用レタス生産振興に対する助成④高品質安定生産に対する助成⑤病害対策に対する助成⑥地域活性化支援に対する助成からなる。

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

優良品目への転換のメニューでは、国の果樹経営支援対策事業の対象とならない品目・品種の改植・

新植を対象にした。転換先については、J Aが生産振興する品目としており、生産縮小で弱体化しかねない産地規模を維持・安定することにより市場等への有利販売を図ると狙いがある。

今年4月に102園地の申込みがあり、32年度にかけて現場での取り組みが進む。梅から田口早生や宮川早生、水田からシンジョウウなど、転換のパターンは多岐に渡る。中には雑木林を南高に転換する例もある。

南高から田口早生（温州ミカン）への転換を申し込んだという田辺市内の組合員は「5畝と面積は小さいが、タイミンが良く今回の事業に乗せることができた」と話していた。

農地の規模拡大等に対する助成は、2つの項目があり、このうち農業用機械等の導入については、農地の利用権を設定しての規模拡大やJ Aが振興する新規作物導入のための農機購入等の費用を助成する。4月に受け付けを行い、動噴やチャップパー、マルチャー、脱莢機、昇降機、軽トラなどで30人の申込みがあった。

今回の事業で特長的なのが「地域活性化支援に対する助成」である。各地域それぞれの課題に対して生販組織等が取り組む対策等に支援を行う。組織活動を軸とした協同組合色の強いメニューであり、J Aでは各地区に地域農業振興に向けて事業活用を求めている。受け付けは随時行っている。

業務用レタス生産振興に対する助成は今年7月頃に申込みを受け付ける。概ね10畝以上栽培等の条件があり、暴風雨・台風等による減収補償と、トンネル資材、契約先となるマクドナルドGAPの取得経費を助成する。

高品質安定生産に関しては、営農の基本である土づくり資材・土壌改良資材の資材費を助成する。品目を問わず汎用性が高い。受け付けは7月下旬から8月上旬頃を予定している。

他に気象に左右されない生産を目的とした農業用ハウスの助成もあり、4月以降随時受け付けを行っている。

J A紀南は自己改革の実践を通じ農業所得の増大や地域の活性化にチャレンジしています